



若手会員の会運営委員会 新委員長就任挨拶

若手会員の会運営委員会 委員長 庄司 博人（大阪大学）

Policy speech of the new chairman of the WELNET steering committee
by SHOJI Hiroto

溶接学会若手会員の会運営委員会の、令和2、3年度委員長を仰せつかりました大阪大学の庄司です。昨年度までは、副委員長として若手会員の会の活動・運営に携わっておりました。本年度からは委員長として、気持ちを引き締め直して本会のさらなる発展に貢献できるよう尽力させていただき所存です。皆様のご協力・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

若手会員の会の目的は、「溶接・接合分野に携わる若手の技術者・研究者間のネットワークを形成し、個々のメンバーがネットワークを通じ、より円滑に業務を推進できるような環境を整備する」ことです。このような目的を達成するために、「若い人の集まりらしく、知的好奇心と遊び心を大切にし、とにかく自由で肩肘を張らない活動を行うこと」がモットーです。溶接・接合分野のさらなる発展のためには、若手技術者・研究者のレベルを上げていくことが重要なポイントの一つと考えております。そのために、これまで若手会員の会では、「今の」若手技術者・研究者のレベルアップやネットワーク形成として、全国大会における「イブニングフォーラム」や「ポスターセッション」、全国大会以外では「研究会・施設見学会」や「Welnet 勉強会」を開催してきました。

また、グローバルネットワーク活動として、IIW 年次大会における Young Professional イベントや、溶接若手研究者のための国際会議 Young Professionals International Conference (YPIC) への参加者派遣を行ってきました。さらに、「未来の」若手技術者・研究者のために、「若手溶接研究者による出前講義」をスタートさせております。これらの活動はご参加いただいた方々には好評であり、改善すべき点については運営委員会の中で議論を続けつつ、継続して進めていきたいと考えております。

しかしながら、本年度は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が世界的に流行し、それに伴い春季全国大会も中止となってしまいました。若手会員の会としても、例年通りの活動を行うことは難しいような状況となっております。これに対し、「Welnet 勉強会」を Web 開催とする案が出ており、検討を進めているところです。会議室等に集まって議論することが難しい状況であるから、ということもありますが、Web 開催ならではのメリットもあると考えております。例えば、場所を問わず参加できることから移動時間や旅費を削減できる、開催時間を自由に設定できる、などが挙げられます。そのため、これまでは勉強会のために出張することが難しかった若

手会員の方々にとっても、Web 開催であればハードルが下がるのではないかと思います。若手同士のネットワーク形成が若手会員の会の大きな目的でありますので、Web 開催によりいろいろな方々を巻き込むことができるのであれば、新型コロナウイルスが終息した後も継続していければと考えています。

Web 開催にあたってはまだ課題もあり、運営委員会の中で議論を進めているところです。

これらのイベントの情報については、本誌 WELNET 自由編集ページや、本会のホームページ、メーリングリストにより発信させていただきます。ご興味をお持ちの方は、ぜひ積極的に気兼ねなくご参加いただけますと幸いです。

以上のような活動を通じて、若手溶接技術者・研究者の間のネットワークを形成し、互いに高め合うような関係を作り上げることができればと考えております。溶接・接合という分野は、プロセス、冶金、力学といったような様々な分野を専門とする技術者・研究者がおり、それぞれの分野を究めるということももちろん重要なことですが、各分野を融合して新しい研究・技術開発を行うことも重要と考えます。それは一人の技術者・研究者だけでは難しく、それぞれの分野の方々が互いに協力することで成し遂げられるものと思います。若手会員の会の活動でのネットワーク形成が、このような活動の一助となればと考えております。今後とも、学会員の皆様、諸先輩方のご理解・ご協力をいただきながら、本会運営委員の方々と力を合わせて魅力ある活動を行っていきたいと考えております。引き続き、皆様のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。